



サンリード

S 型 / A 型 / W 型

SunRide

お施主様保管用

取付・取扱説明書

※このたびは、当社製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本書は、この製品を安全に正しく施工して、お施主様に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
この「取付・取扱説明書」をよくお読みのうえ、本書の内容（指示）にしたがってください。

この説明書で使われているマークの意味

⚠ 警告

・取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠ 注意

・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

・特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

補足

・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

INDEX

《施工者様向け》

施工の前に必ずご確認ください	1
部品明細	2
基本寸法図	4
施工手順	7
1. 支柱の建てこみ	7
2. 手すりビームの取付け	8
・ トップビームタイプの場合	8
・ フロントビームタイプの場合	10
・ 壁付けタイプの場合	12
3. 3次元柱用ブラケット(トップビームタイプ) の取付け	14
4. フロントブラケット(3次元柱仕様) の取付け	15
5. 3次元ブラケット仕様手すりビームの取付け	16
6. 注意シールの貼付け	17
施工工事店様、販売店様へのお願い	20

《お施主様向け》

ご使用前に必ずご確認ください	18
安全のためにご注意とお願い	18
商品のお手入れ方法	18
施工工事店様、販売店様へのお願い	20

施工の前に必ずご確認ください

⚠ 警告

※サンリードは、公共施設通路等の歩行補助を目的とした手すりです。目的以外への転用・改造は行なわないでください。

⚠ 注意

- ※専門知識のない方が施工されますと、不具合発生の原因となる事がありますので、専門の工事業者が施工してください。
- ※正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず本書をお読みください。
- ※コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。
- ※柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- ※製品の改造は絶対にしないでください。
- ※施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- ※基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています、現場によって堅牢な地盤、軟弱な地盤など基礎部のコンクリートの量・体積を十分配慮してください。
- ※モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- ※製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

部品明細

【フロントブラケットセット Φ42.7】

名 称	略 図	数 量
Φ42.7手すりアームセット		1
Φ48.6台座		1
M8×30六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1

【フロントブラケットセット Φ34】

名 称	略 図	数 量	
		トップタイプ用	フロントタイプ用
Φ34手すりアームセット		1	1
Φ48.6台座		1	—
Φ48.6持出し台座		—	1
M8×30六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1	—
M8×50六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		—	1

【壁付けブラケットセット Φ42.7】

名 称	略 図	数 量
Φ42.7手すりアームセット		1
M10×25六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1
M10×40グリップアンカー		1

【壁付けブラケットセット Φ34】

名 称	略 図	数 量
Φ34手すりアームセット		1
壁付け持出し台座		1
M10×75六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1
M10×70グリップアンカー		1

【注意シール】

名 称	略 図	数 量
注意シール		1

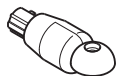
【ビームカバーセット】

名 称	略 図	数 量	
		Φ42.7	Φ34
ビームカバー Φ42.7		1	—
ビームカバー Φ34		—	1

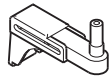
【3次元柱用 Φ42.7ブラケットセット】

名 称	略 図	数 量
Φ42.7用ブラケットセット		2
M8×45六角穴付きボタンボルト(SW付)		1

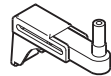
【3次元柱用 Φ34ブラケットセット】

名 称	略 図	数 量
Φ34用ブラケットセット		2
M8×45六角穴付きボタンボルト(SW付)		1

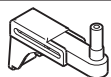
【3次元柱用アームセット】

名 称	略 図	数 量
フロントブラケット		1
Φ48.6用台座		1
M8×30六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1

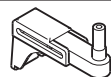
【3次元柱用持出しアームセット】

名 称	略 図	数 量
フロントブラケット		1
Φ48.6用持出し台座		1
M8×50六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1

【3次元用壁付け部品セット】

名 称	略 図	数 量
フロントブラケット		1
M10×25六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1
M10×40グリップアンカー		1

【3次元用持出し壁付け部品セット】

名 称	略 図	数 量
フロントブラケット		1
壁付け持出し台座		1
M10×75六角穴付きボタンボルト(PW+SW)		1
M10×70グリップアンカー		1

【ビームセットS型 Φ42.7・Φ34】

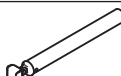
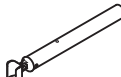
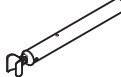
名 称	略 図	数 量
中間用 中間3次元柱用		1
Rエンド Rエンド3次元柱用		1
Sエンド Sエンド3次元柱用		1

【ビームセットA,W型Φ42.7(Φ42.9)・Φ34】

名 称	略 図	数 量
中間用 中間3次元柱用		1
Rエンド Rエンド3次元柱用		1
Sエンド Sエンド3次元柱用		1

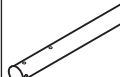
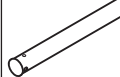
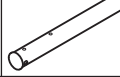
※W型はΦ42.9となります。

【支柱セット(トップビームタイプ)】

名 称	略 図	数 量
支柱Φ48.6 トップ1段		1
支柱Φ48.6 トップ2段		1
支柱Φ48.6 センタートップ2段		1

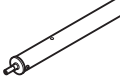
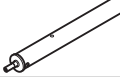
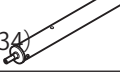
※トップビームブラケットは支柱に組付けてあります。

【支柱セット(フロントビームタイプ)】

名 称	略 図	数 量
支柱Φ48.6 フロント1段		1
支柱Φ48.6 フロント2段		1
支柱Φ48.6 センターフロント1段		1
支柱Φ48.6 センターフロント2段		1

※フロントビームタイプでΦ34ビーム仕様以外の柱は、標準・コーナー共通です。

【3次元柱セット(トップビームタイプ)】

名 称	略 図	数 量
3次元柱 トップ1段		1
3次元柱 トップ2段		1
3次元柱 トップ2段 (Φ34)		1
3次元柱 センタートップ2段		1
3次元柱 センタートップ2段 (Φ34)		1

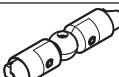
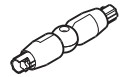
※トップブラケットは支柱に組付けてあります。

【3次元支柱セット(フロントビームタイプ)】

名 称	略 図	数 量
コーナー柱 フロント2段(Φ34)		1
コーナー柱 センターフロント2段(Φ34)		1

※フロントビームタイプでΦ34ビーム仕様以外の柱は、標準・コーナー共通です。

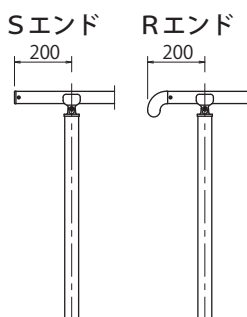
【3次元ブラケットセットΦ42.7・Φ34】

名 称	略 図	数 量	
		Φ42.7	Φ34
3次元ブラケットセットΦ42.7		1	—
3次元ブラケットセットΦ34		—	1

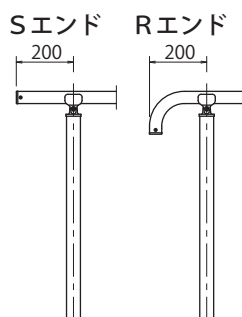
基本寸法図

※本体の寸法詳細は承認図を参照願います。

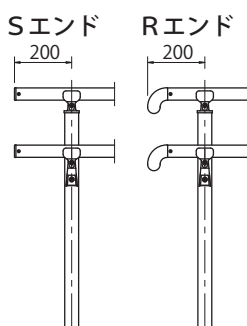
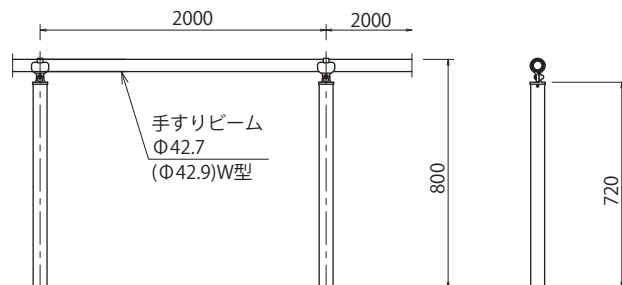
トップビームタイプ



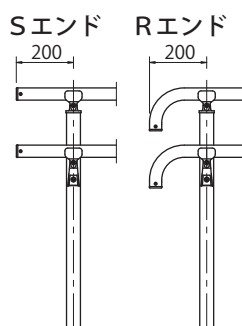
【A型】・【W型】



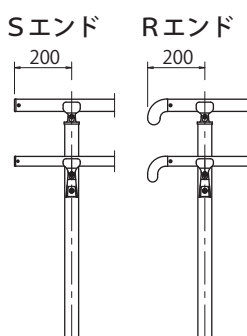
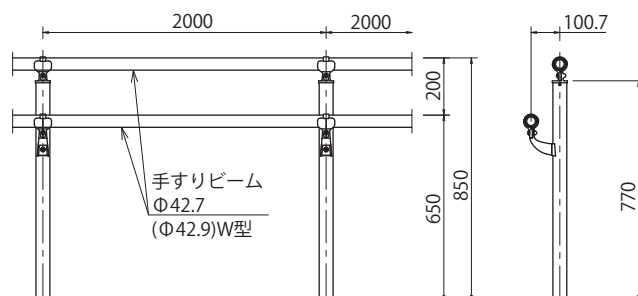
【S型】



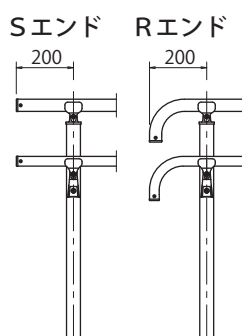
【A型】・【W型】



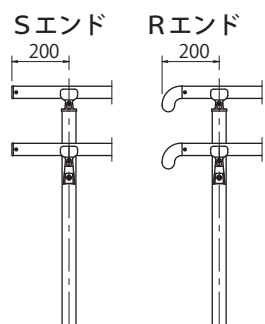
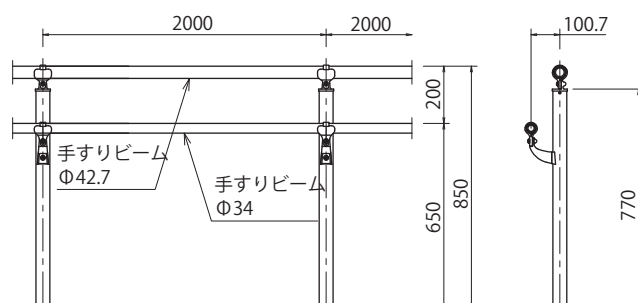
【S型】



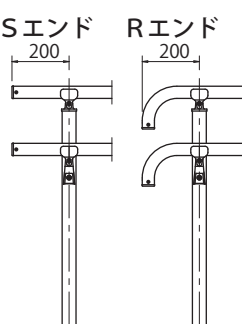
【A型】



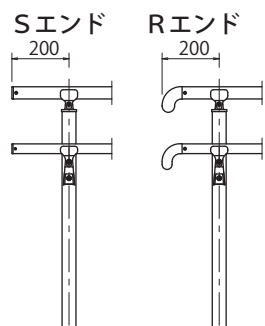
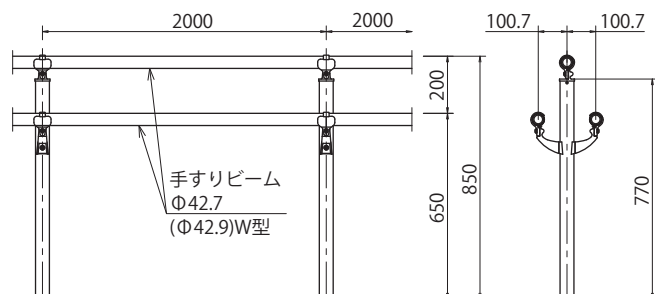
【S型】



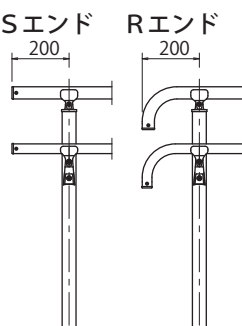
【A型】・【W型】



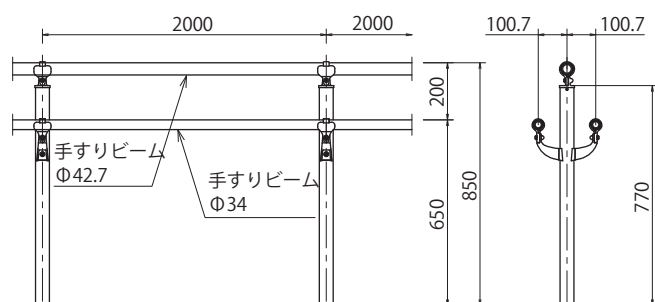
【S型】



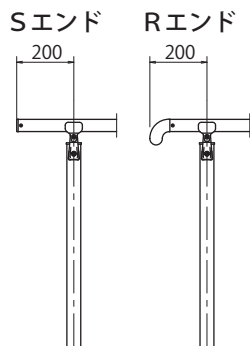
【A型】



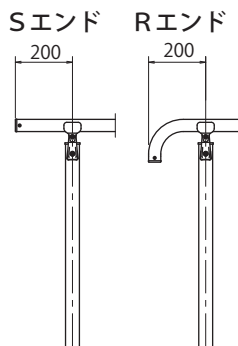
【S型】



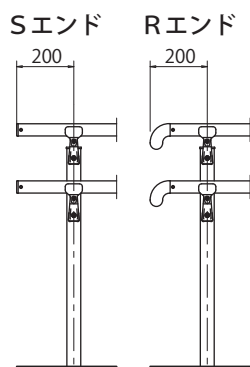
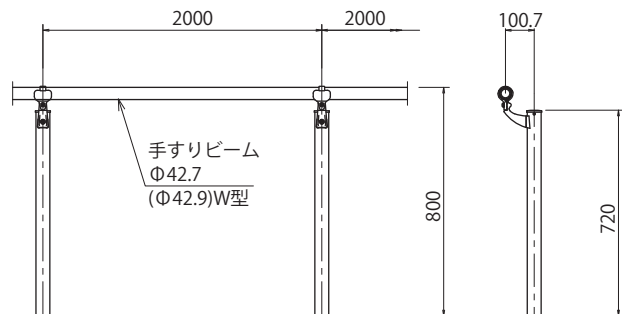
フロントビームタイプ



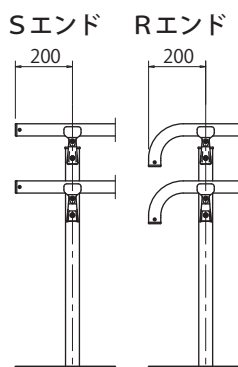
【A型】・【W型】



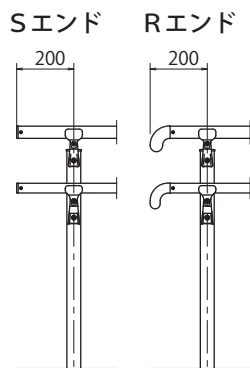
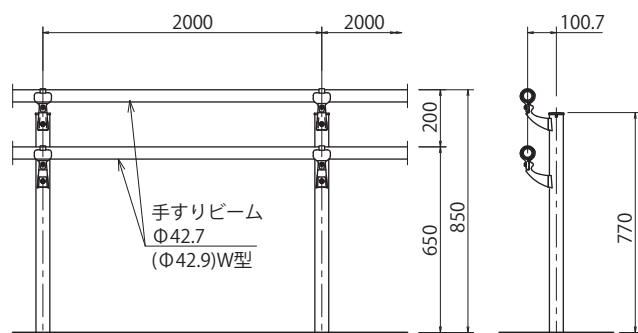
【S型】



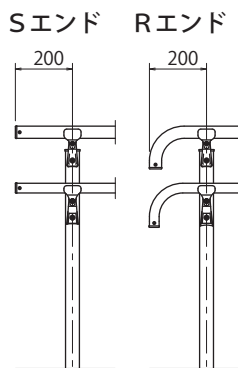
【A型】・【W型】



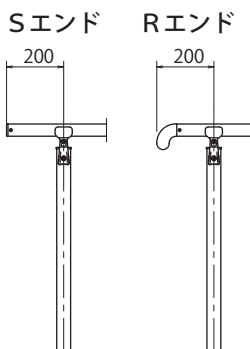
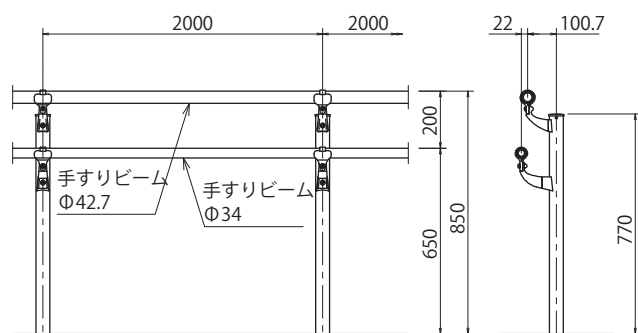
【S型】



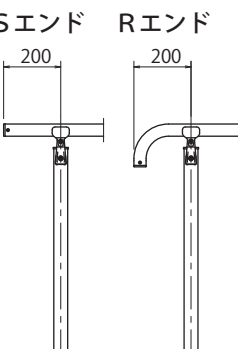
【A型】



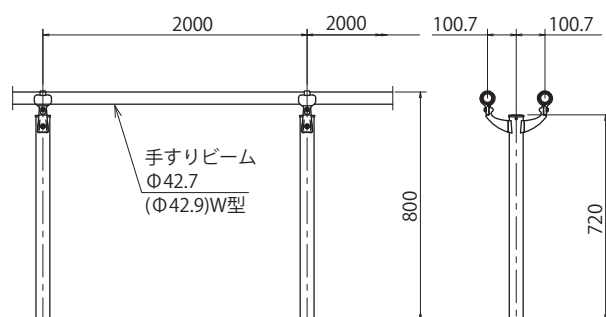
【S型】

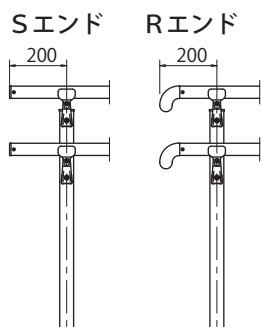


【A型】・【W型】

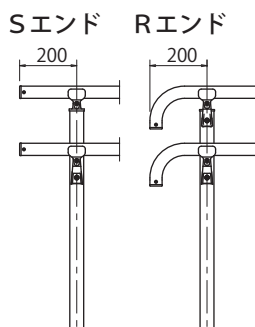


【S型】

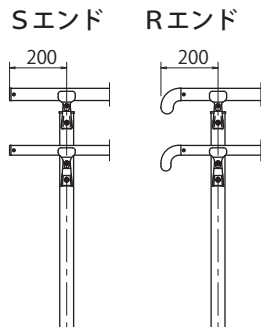
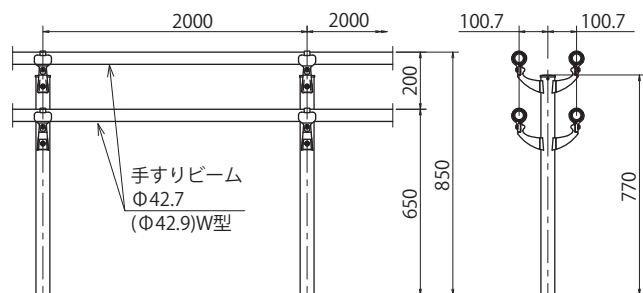




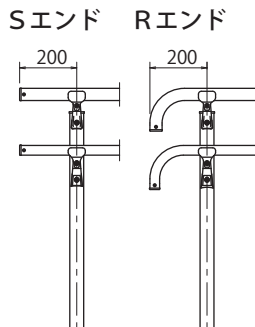
【A型】・【W型】



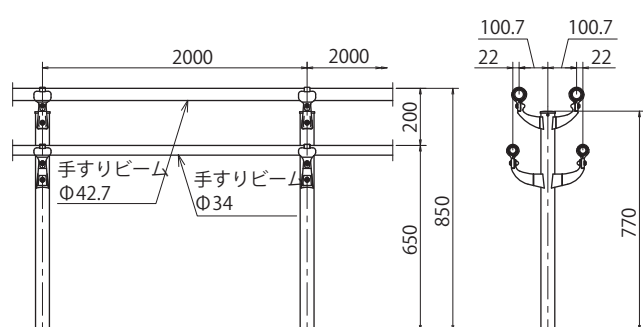
【S型】



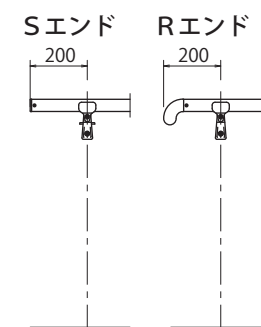
【A型】



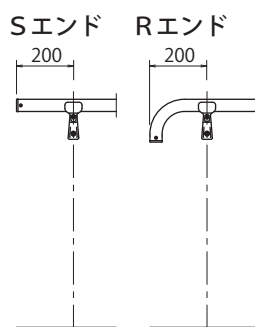
【S型】



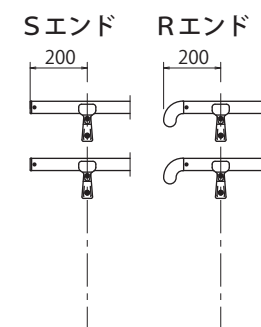
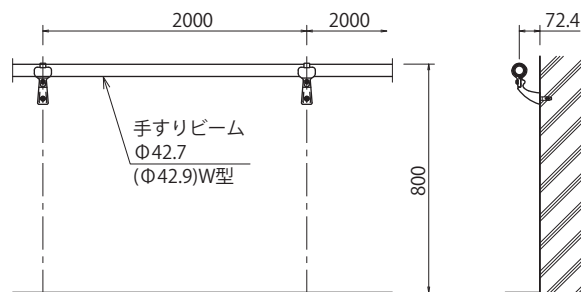
壁付タイプ



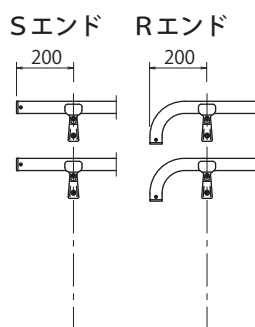
【A型】・【W型】



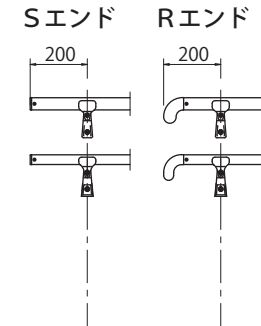
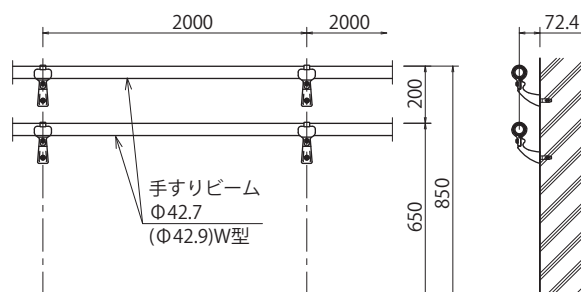
【S型】



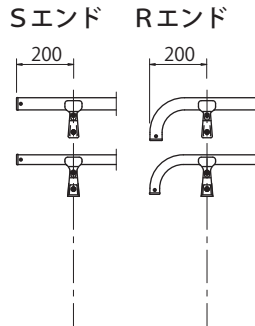
【A型】・【W型】



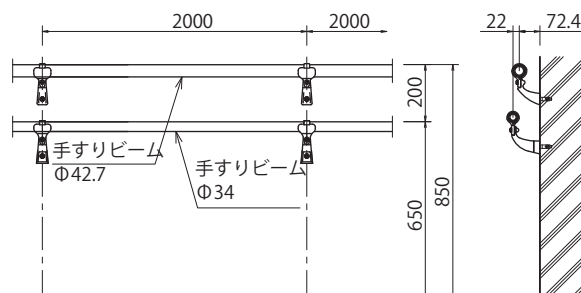
【S型】



【A型】



【S型】



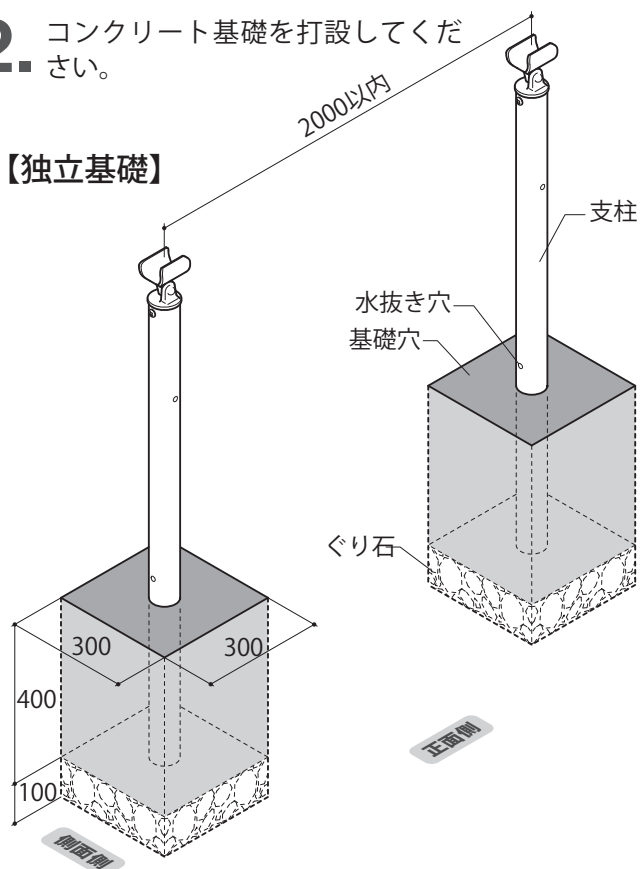
施工手順

1 支柱の建てこみ

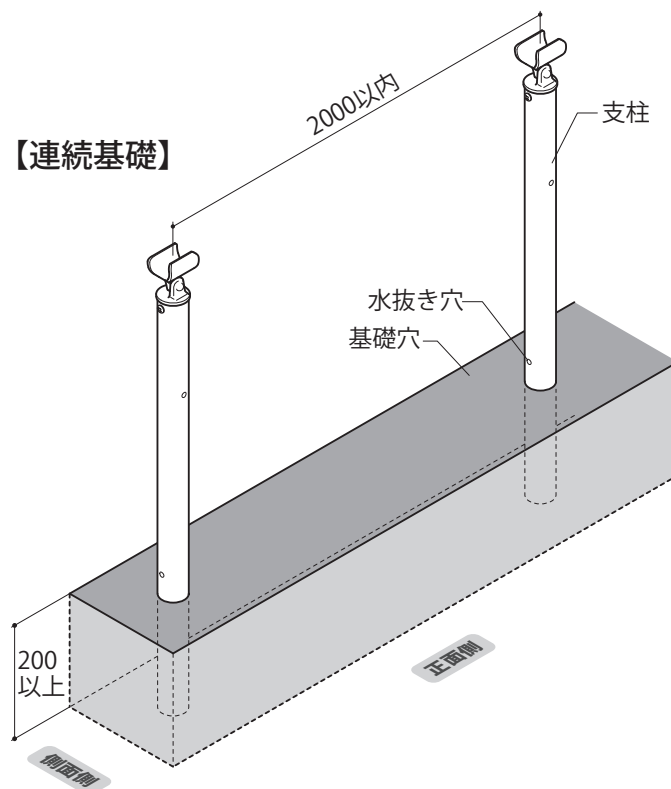
1. 基礎穴を掘り、支柱を建てこんでください。

2. コンクリート基礎を打設してください。

【独立基礎】



【連続基礎】

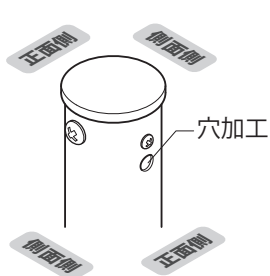


お願い

【支柱の向きについて】

柱の「正面方向」、「側面方向」を確認して建てこんでください。穴加工されている側が「正面方向」になります。

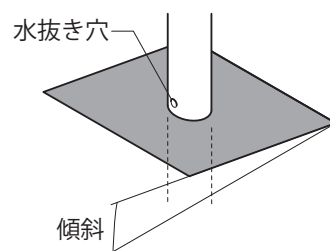
※トップ1段の場合は穴加工がありません。ブラケットの向きを揃えてください。



【水抜き穴について】

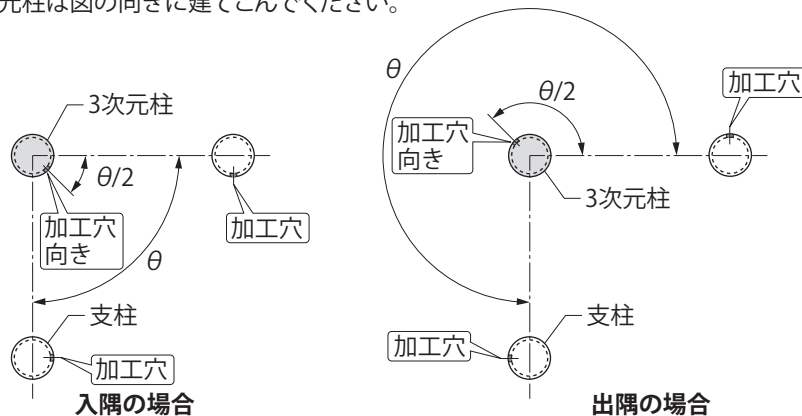
・支柱を建てこむ際、水抜き穴がコンクリート基礎に埋まらないように施工してください。柱内に水がたまり、腐食や凍結による破裂のおそれがあります。

・特に傾斜地に施工する場合、水抜き穴の向きによっては、基礎面に近づくので、注意してください。



【3次元柱の向きについて】

3次元柱は図の向きに建てこんでください。



補足

柱の形状はタイプにより異なります。

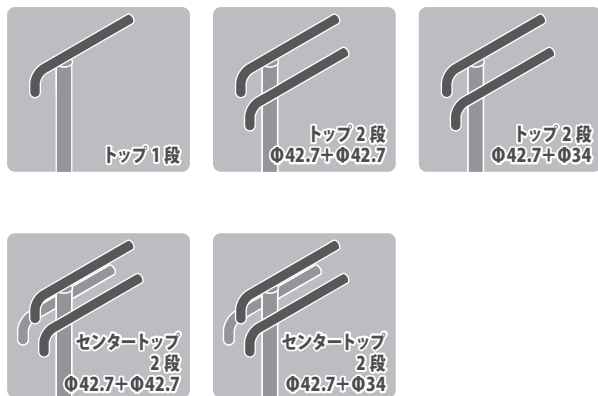
【トップビームタイプ3次元柱】



2 手すりビームの取付け トップビームタイプの場合

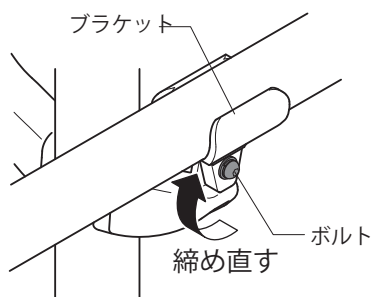
補足

- ・図は【センタートップ2段】で示しますが、他タイプも取付け方は同様です。
- ・【トップ2段】は片側のみ手すりビームを取付けてください。

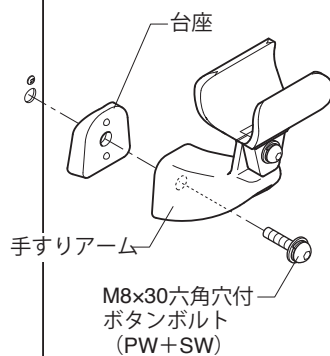


⚠ 注意

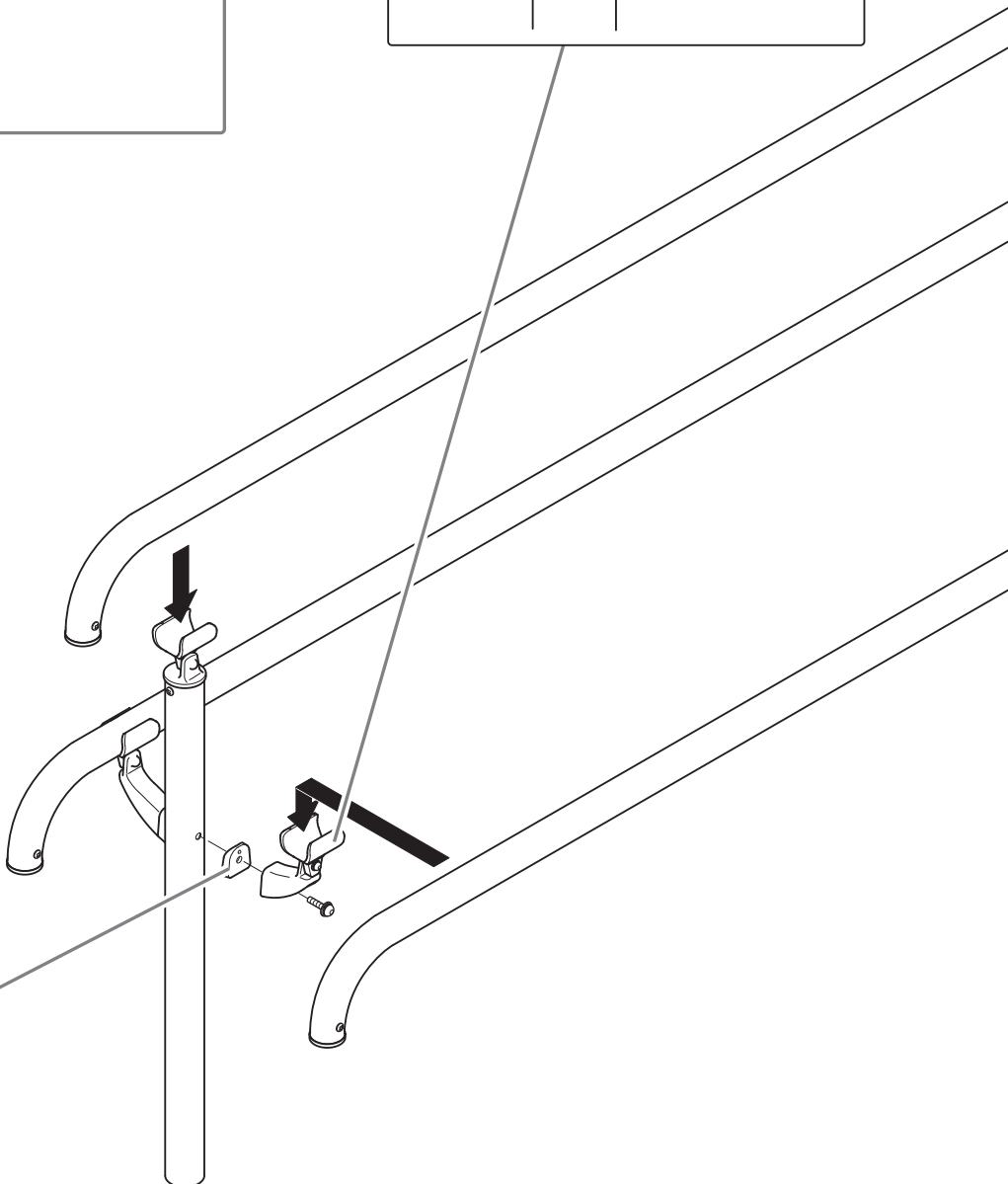
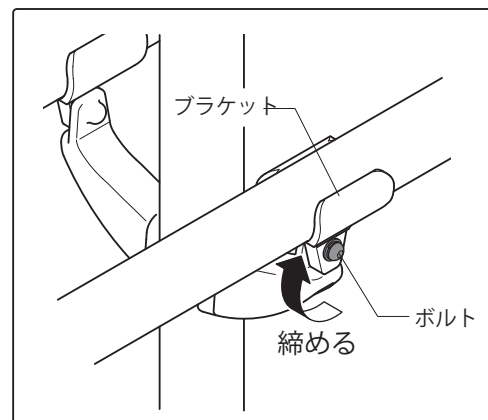
※施工後、ビームのガタツキがないか確認をしてください。
ガタツキがある場合は、ブラケットを固定しているボルトを再度、締め直してください。



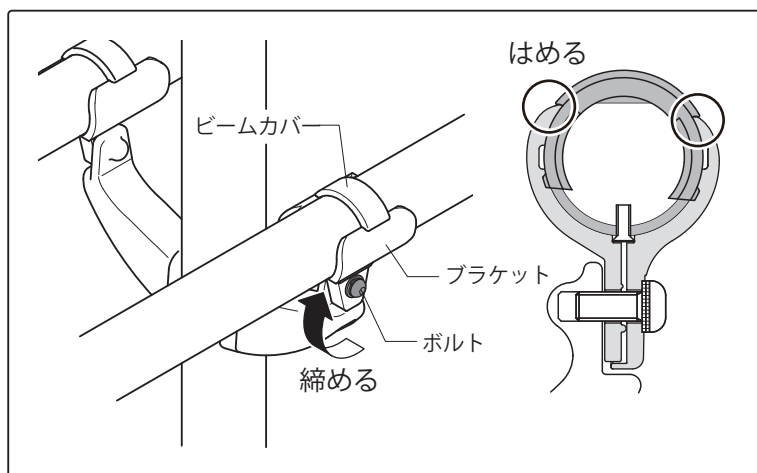
1. 台座と手すりアームを支柱にボルトで共締めしてください。



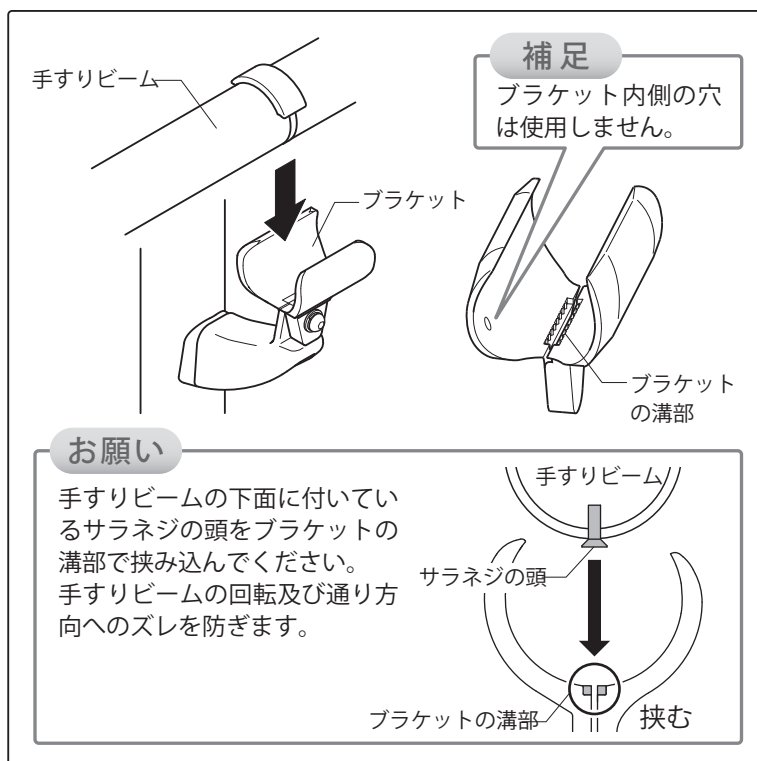
5. ボルトを締めこみ、手すりビームとブラケットを固定してください。



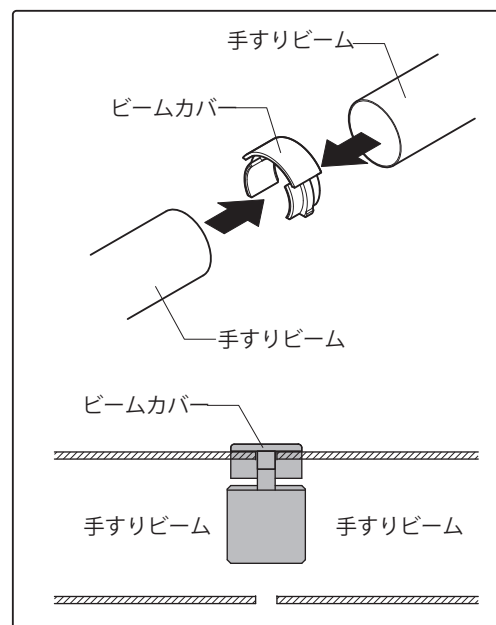
- 5.** ボルトを締めこみ、
手すりビームとブラ
ケットを固定してく
ださい。



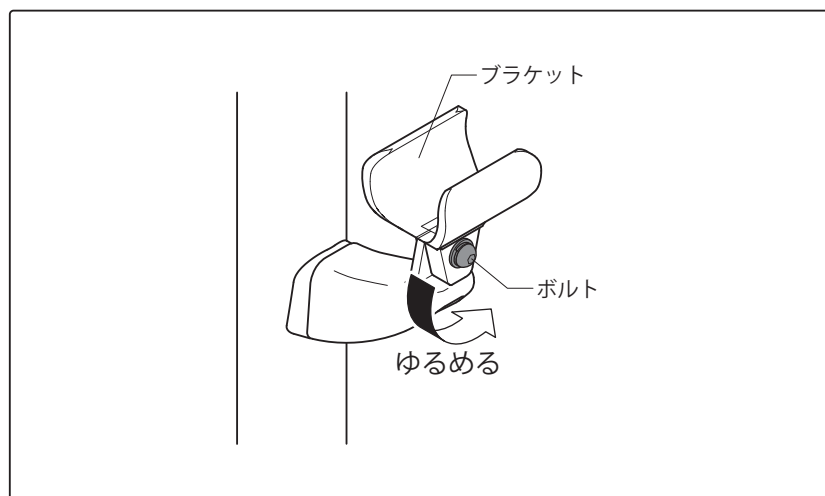
- 4.** 手すりビームをブラケットにはめ込んでください。



- 3.** ビーム連結部はビームカバー
をビームにはめてください。



- 2.** 手すりビームをブラケットに取付けるため、ブラケットのボ
ルトを、外れない程度ゆるめてください。



2 手すりビームの取付け ◀フロントビームタイプの場合▶

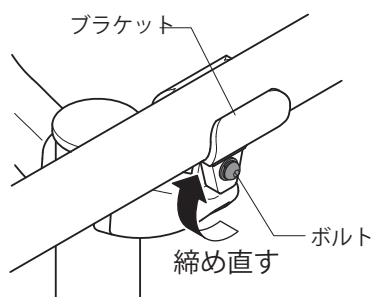
補足

- ・図は【センターフロント2段】で示しますが、他タイプも取付け方は同様です。
- ・【フロント】は片側のみ手すりビームを取付けてください。



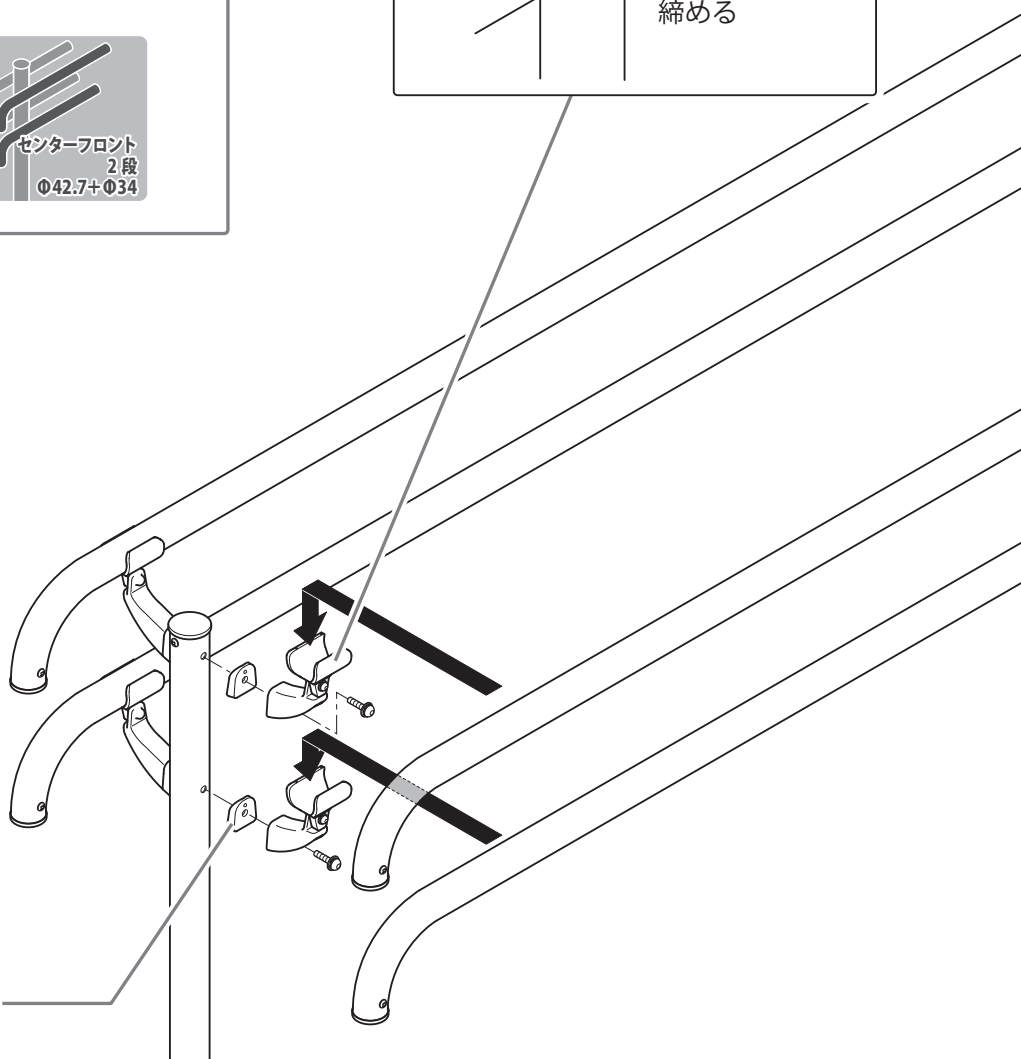
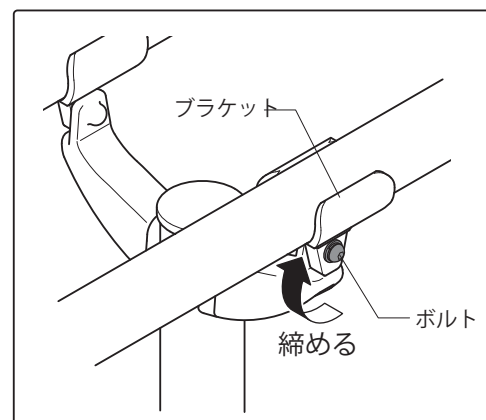
▲ 注意

※施工後、ビームのガタツキがないか確認をしてください。
ガタツキがある場合は、ブラケットを固定しているボルトを再度、締め直してください。

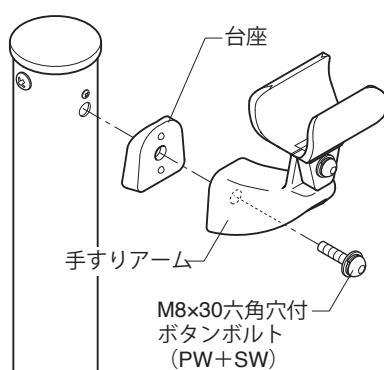


1. 台座と手すりアームを支柱にボルトで共締めしてください。

5. ボルトを締めこみ、手すりビームとブラケットを固定してください。

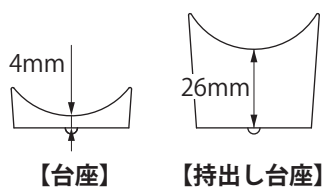


【上段φ42.7用】

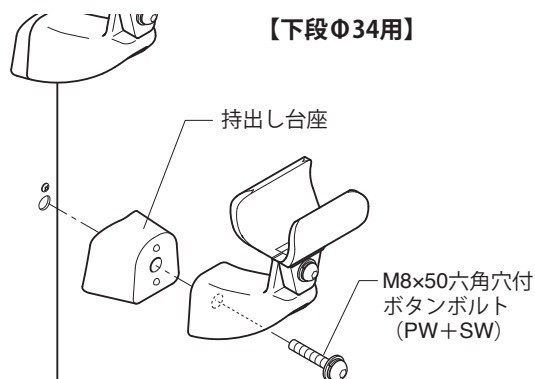


補足

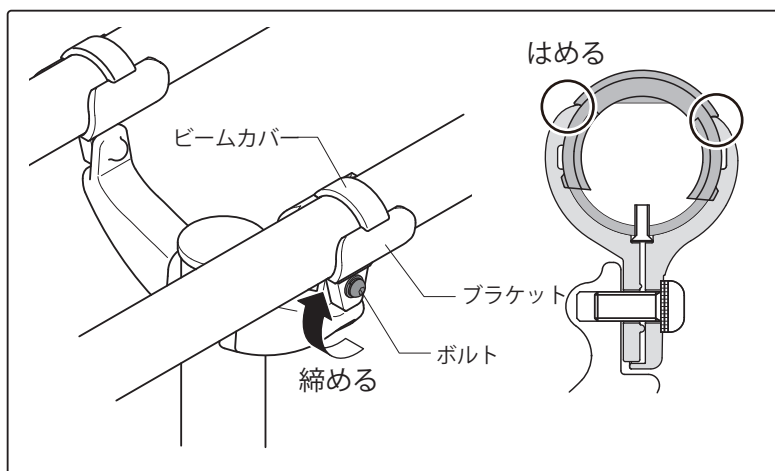
手すりビームφ34を取付ける場合、持出し台座を使用します。台座の厚みを確認し、取付箇所を間違えないよう気をつけてください。



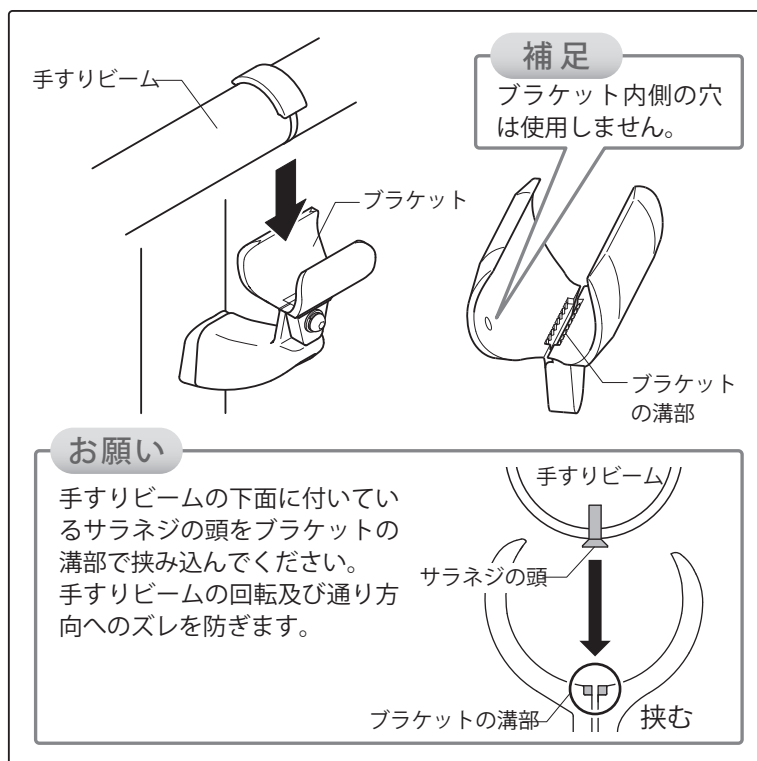
【下段φ34用】



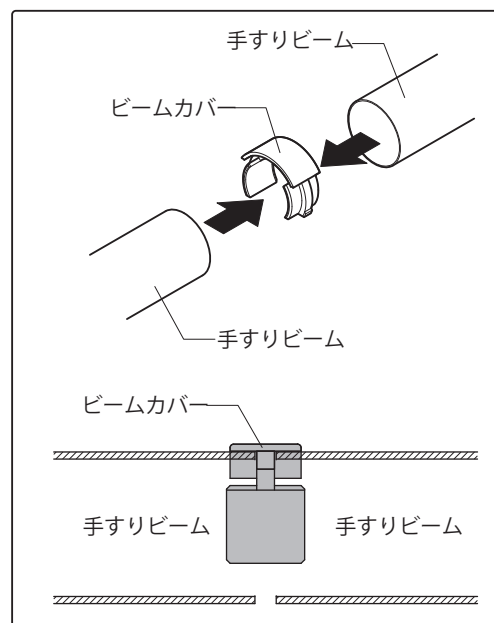
5. ボルトを締めこみ、
手すりビームとブラ
ケットを固定してく
ださい。



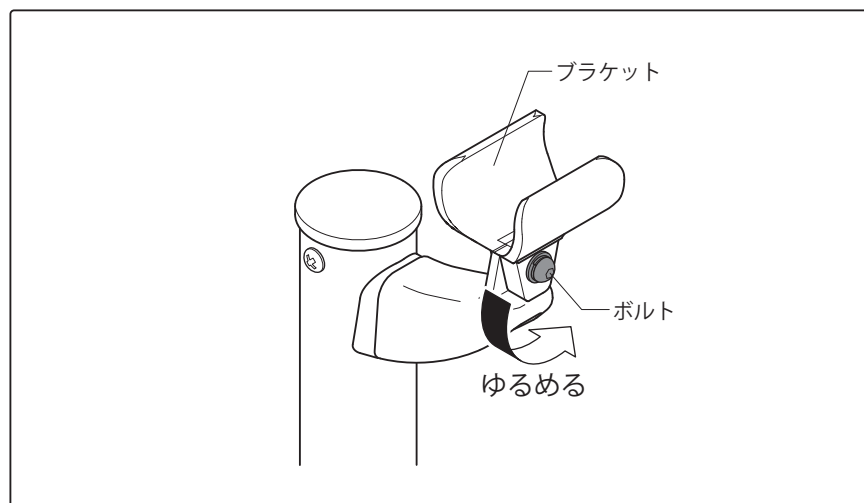
4. 手すりビームをブラケットにはめ込んでください。



3. ビーム連結部はビームカバーをビ
ームにはめてください。



2. 手すりビームをブラケットに取付けるため、ブラケットのボ
ルトを、外れない程度ゆるめてください。



2 手すりビームの取付け 壁付タイプの場合

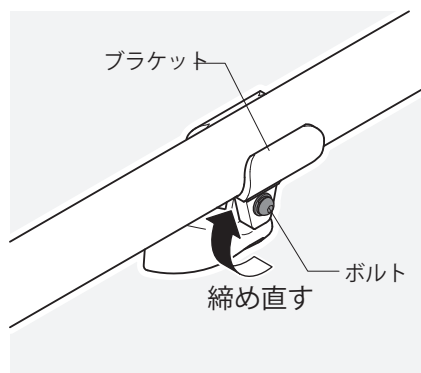
補足

- ・図は【壁付け2段】で示します。
【壁付け1段】も取付け方は同様です。

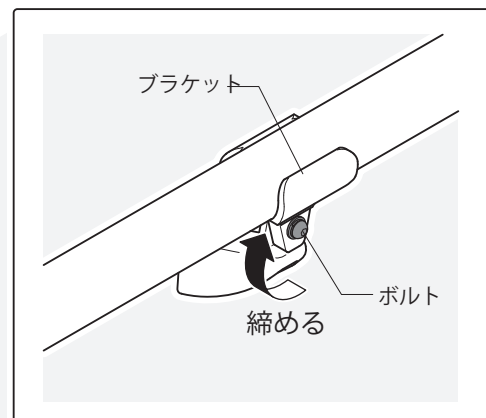


⚠ 注意

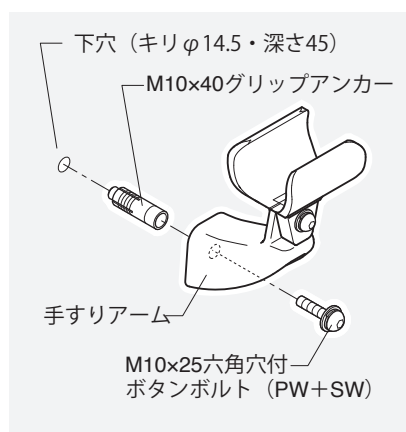
- ※施工後、ビームのガタツキがないか確認をしてください。
ガタツキがある場合は、ブラケットを固定しているボルトを再度、締め直してください。



5. ボルトを締めこみ、手すりビームとブラケットを固定してください。

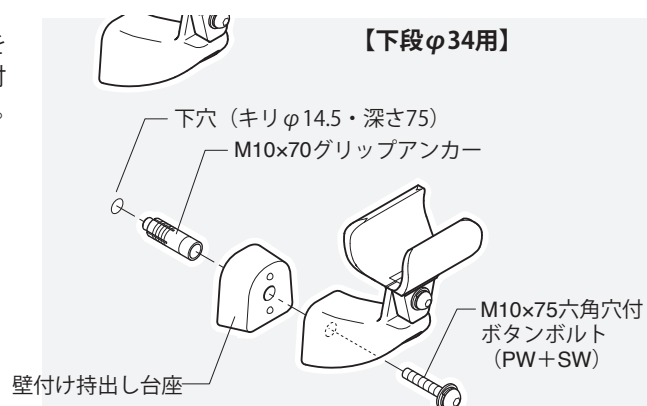


1. グリップアンカーを壁面に打込み、手すりアームをボルトで共締めしてください。

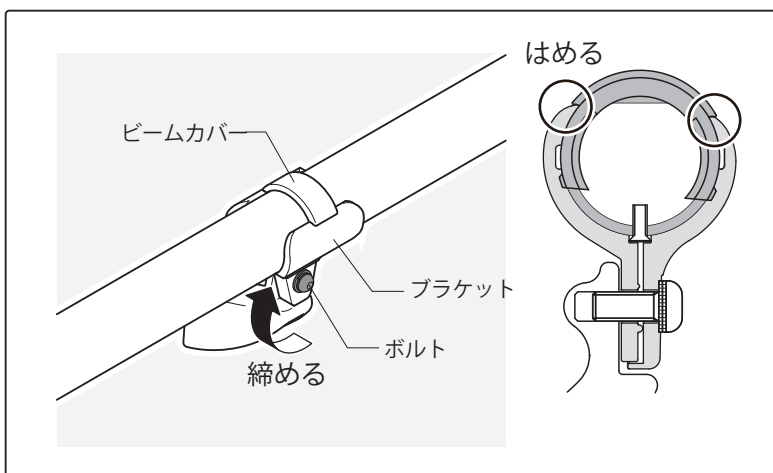


補足

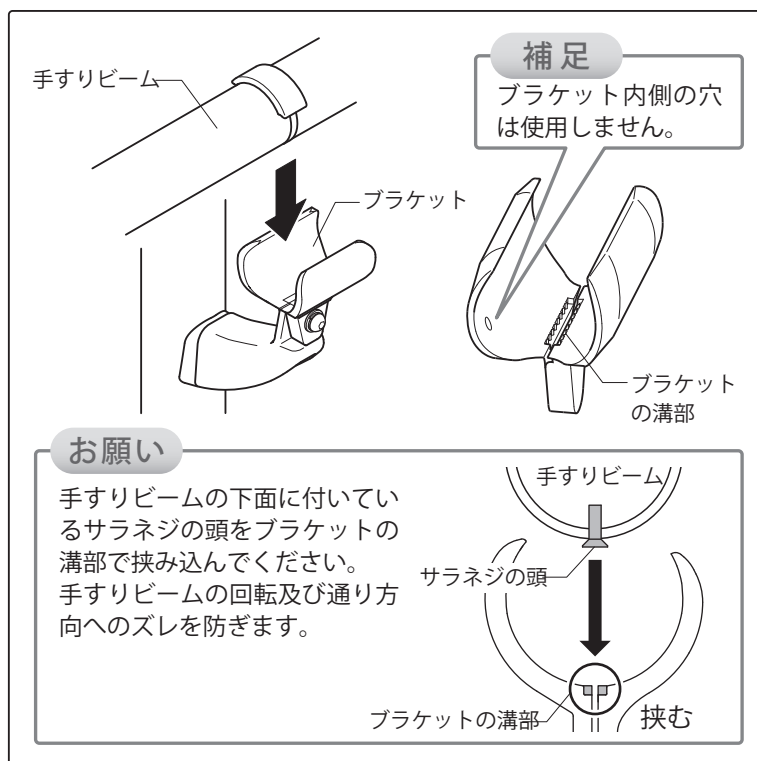
- 手すりビームφ34を取付ける場合、壁付け台座を使用します。



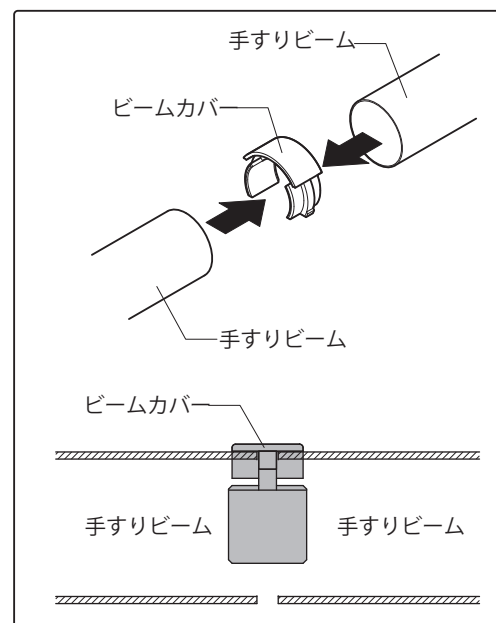
5. ボルトを締めこみ、
手すりビームとブラ
ケットを固定してく
ださい。



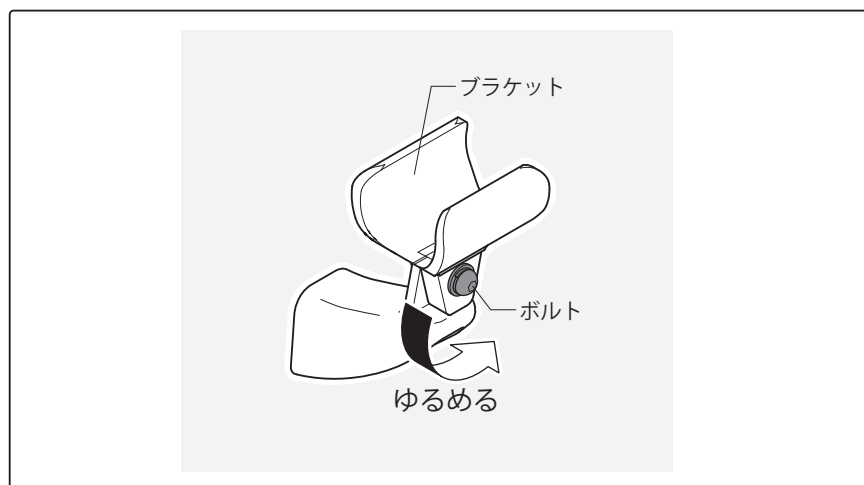
4. 手すりビームをブラケットにはめ込んでください。



3. ビーム連結部はビームカバーをビームにはめてください。



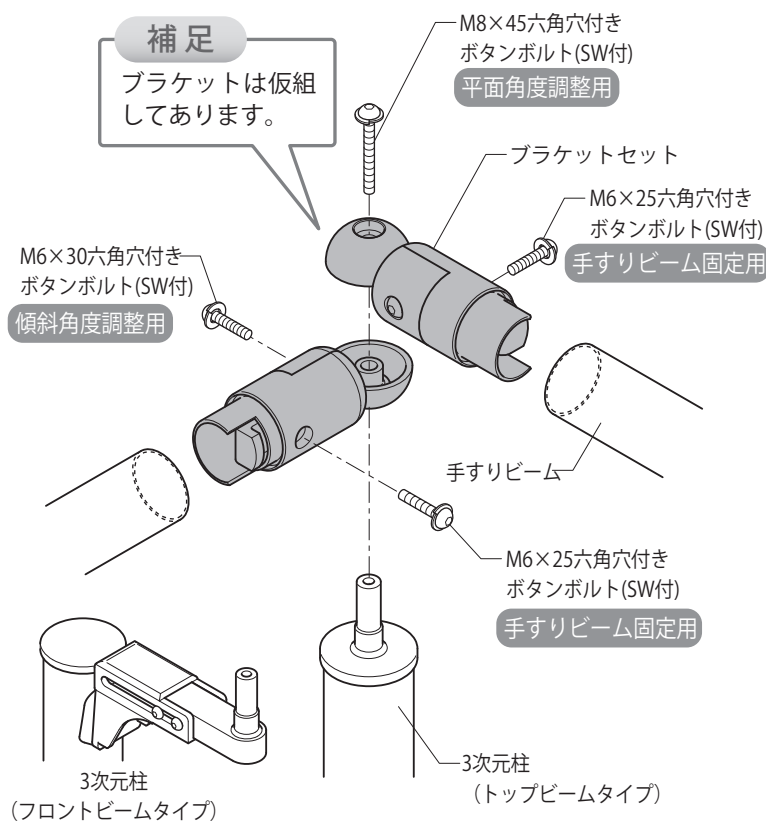
2. 手すりビームをブラケットに取付けるため、ブラケットのボルトを、外れない程度ゆるめてください。



3 3次元柱用(トップビームタイプ) ブラケットの取付け

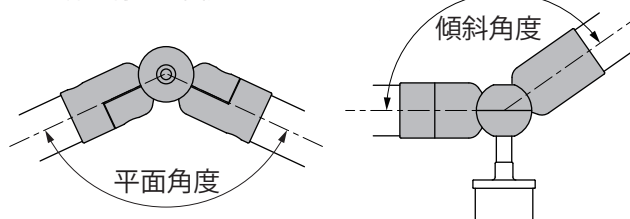
1. ブラケットセットを手すりビームに差込み、ボルトで固定してください。

2. ブラケットセットを3次元柱にボルトで固定してください。



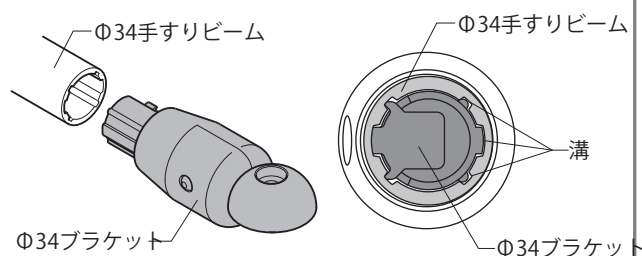
お願い

※平面回転角度及び傾斜角度を調整した後、ボルトを充分に締め付けて固定してください。



お願い

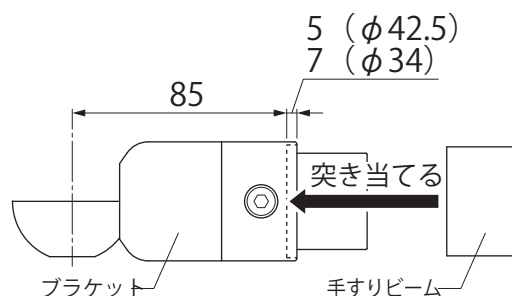
Φ34の手すりビームは、ブラケットセットと手すりビームの溝を合わせて差し込んでください。



⚠ 注意

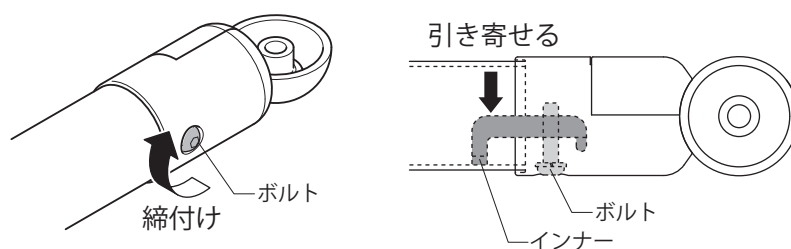
※手すりビームをブラケットの奥まで、突き当てて固定してください。

※手すりビームを切断したときは内、外のバリを取ってください。



補足

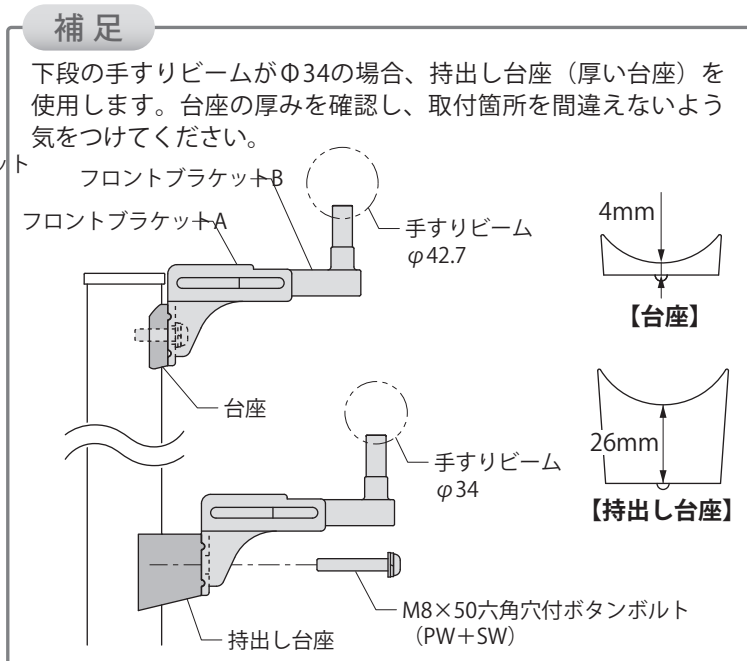
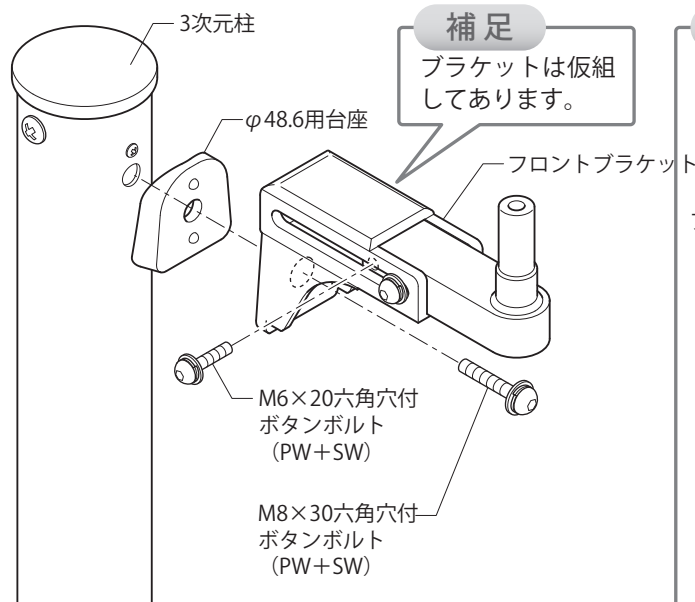
手すりビームには取付け穴がありません。
インナーを引き寄せて固定します。



4 フロントブラケット(3次元柱仕様)の取付け

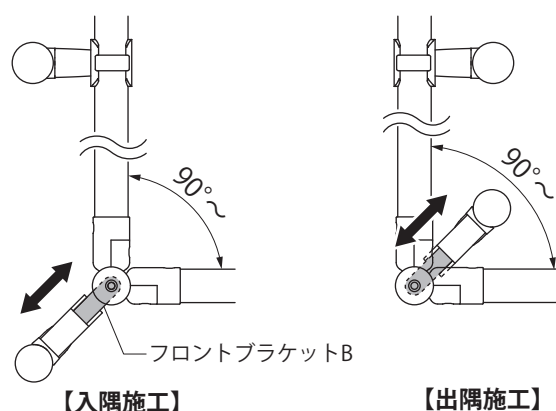
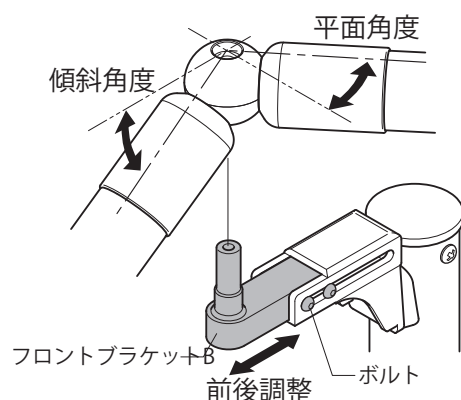
フロントビームタイプの場合

1. 台座とフロントブラケットを3次元柱に取り付けてください。



お願い

平面角度、傾斜角度に合わせ、フロントブラケットBを前後に調整して、ボルトを十分に締付けて固定してください。

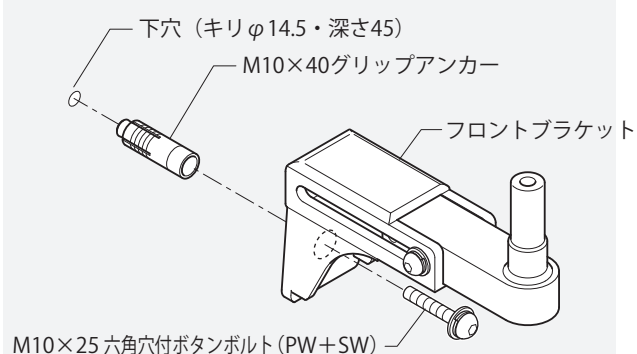


壁付タイプの場合

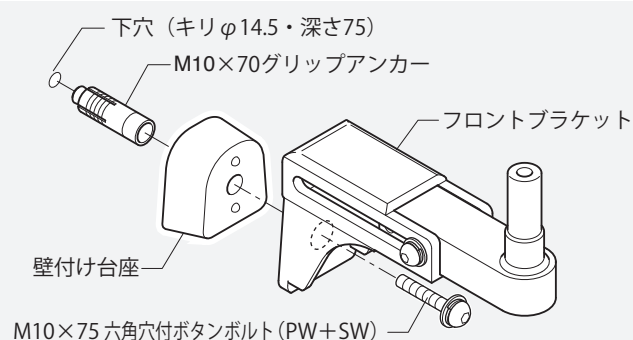
1. グリップアンカーを壁面に打込み、フロントブラケットをボルトで取付けてください。

補足

平面角度、傾斜角度及び前後調整はフロントビームタイプと同様です。



補足



5 | 3次元ブラケット仕様手すりビームの取付け

お願い

※手すりビームとブラケットの取付けは、[2 手すりビームの取付け]を参照してください。

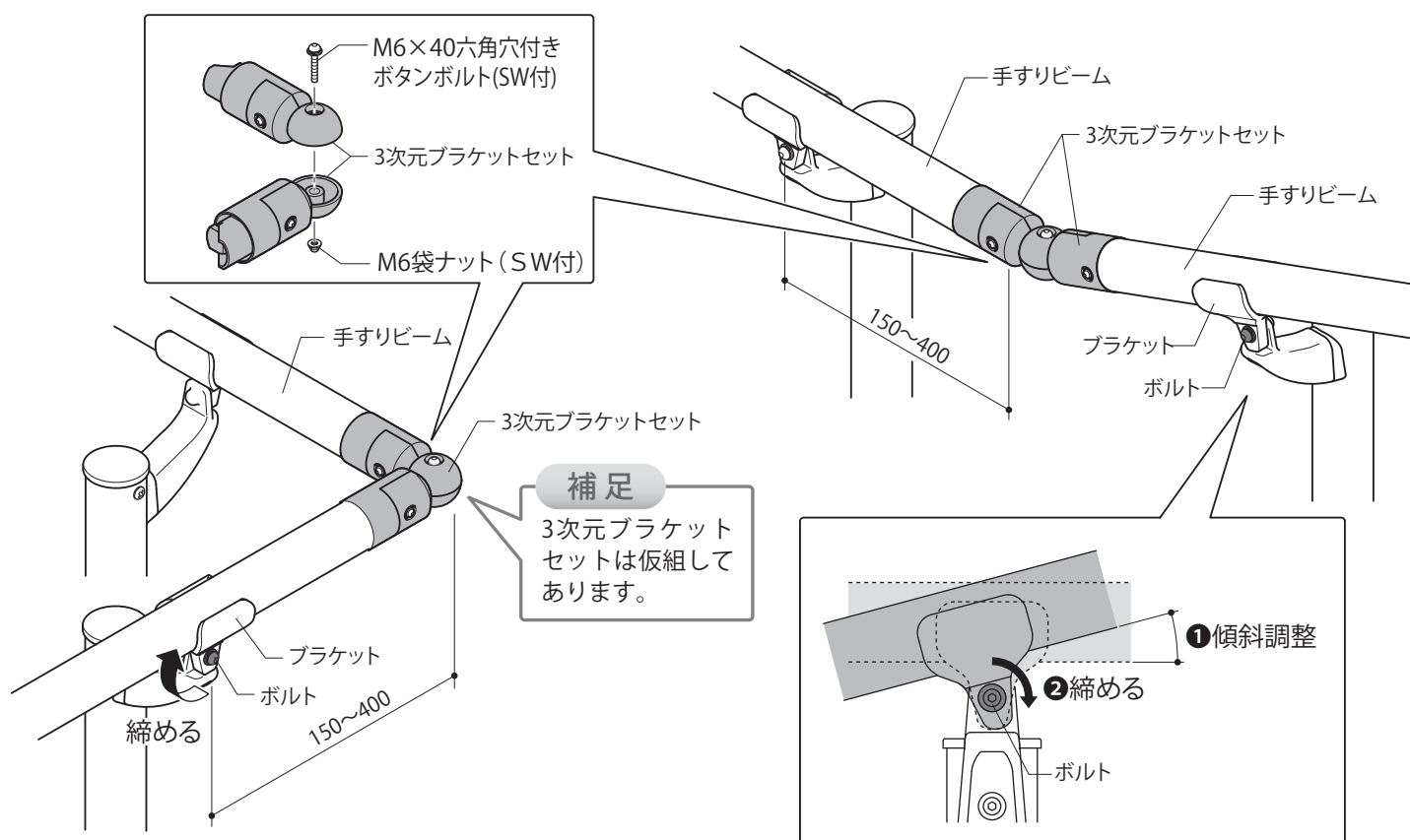
※図はフロントビームタイプを代表で示します。

トップビームタイプ及び壁付けタイプも同様の取付けとなります。

1. 3次元ブラケットセットを手すりビームに差込み、ボルトで固定してください。
2. 3次元ブラケットセットをボルトとナットで固定してください。

補足

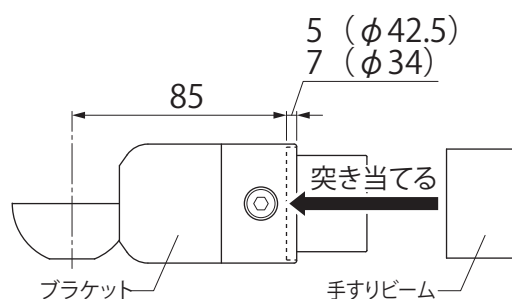
コーナー角度は90°～180°まで規格対応できます。
傾斜角度は0°～34°まで規格対応できます。



⚠ 注意

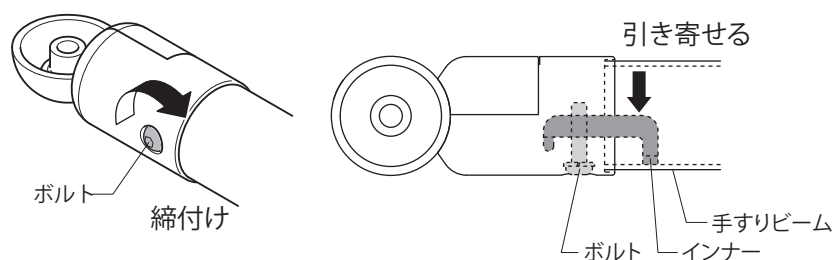
※手すりビームをブラケットの奥まで、突き当てて固定してください。

※手すりビームを切断したときは内、外のバリを取ってください。



補足

手すりビームには取付け穴がありません。
インナーを引き寄せて固定します。



6

1.



注意シール

メモ

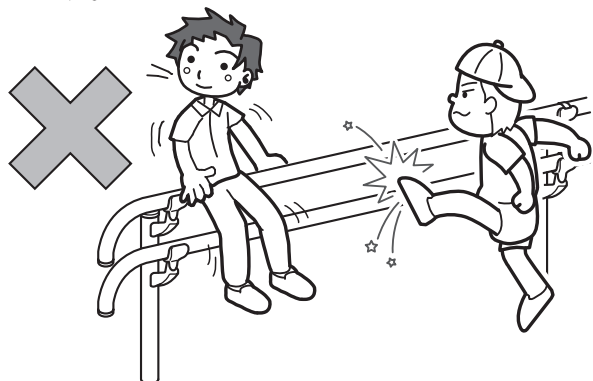
[illegible]

ご使用前に必ずご確認ください

安全のためのご注意とお願い

⚠ 注意

※ ビームに腰掛けたり、ゆすったり、強い衝撃を与えないでください。部材の変形やブラケットから外れてケガをするおそれがあります。



※ 定期的にネジやボルトのゆるみがないか点検してください。



商品のお手入れ方法

アルミ商品

お手入れの方法

アルミはサビに強い金属ですが、表面に付着した汚れが長期間放置されると腐食する場合があります。

アルミ製商品の腐食を防ぐ効果的な方法は、定期的な水洗いです。年に数回の水洗いと乾拭きをおこなうだけで大きな効果が得られます。

汚れのひどい工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。

汚れが軽い場合

やわらかい布かスポンジで水洗いした後に乾拭きをしてください。

汚れがひどい場合

中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いした後に乾拭きをしてください。

汚れが著しくサビが出ている場合

薄めた中性洗剤をつけたスコッチブライトか目の細かい紙ヤスリで軽くこすり、汚れやサビを取り除き水洗いした後に乾拭きをしてください。

○水洗いで落ちない時は、台所用中性洗剤を20倍程度に薄めてお使いください。

○洗剤をお使いの時は、洗浄後水洗いを充分に行ってください

○市販のスポンジたわしは使用しないでください。(汚れが落ちにくいことがあります。)

お手入れの際のご注意

○お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の荒い紙ヤスリ等は使用しないでください。

○小石、砂などが付着したまま表面をこするとキズがつきます。あらかじめ取り除いてください。

○洗剤は中性洗剤を薄めて使用してください。角や隅に洗剤が残ると腐食の原因になりますのでよく拭き取ってください。

ステンレス商品

お手入れの方法

ステンレスは腐食性にサビにくい金属ですが、環境によっては“もらいサビ”を受けることがあります。サビは早い時期であれば、簡単に除去でき、きれいな表面状態に戻ります。ステンレス本来の美観を保つには定期的なお手入れを心がけてください。海岸地帯や工業地帯など環境が厳しい場所では、お手入れの回数を増やしてください。

汚れが軽い場合

水で濡らしたやわらかい布でふいた後、乾拭きをしてください。

手あかなどの汚れの場合

スポンジまたは布に中性洗剤をつけて拭き取ってください。

○きれいに除去できない場合は、市販のステンレス用清掃溶液か有機溶剤を使用してください。

鉄粉や潮風による点状のサビの場合

スポンジや布またはステンレスたわしに中性洗剤をつけて拭き取ってください。

○きれいに除去できない場合は、炭酸カルシウムやみがき粉などでこすり取ってください。

○市販のステンレス用清掃溶液でも効果があります。

黄褐色のサビが固着している場合

硝酸の15%希釈液で拭き取ってください。

○市販のステンレス用清掃溶液でも効果があります。

お手入れの際のご注意

- 必ず十分に水ぶきをして、薬品などが残らないようにしてください。放置しておくとサビの原因になります。
- あらかじめ部分的に“ためしぶき”をして、汚れやサビの落ち具合を確認してください。
- スポンジ、ブラシなどを使用する場合は、必ずステンレスの研磨目にそって平行に、均一に力を入れてください。
- 目のあらいクレンザー、紙やすり、スチールウールなどの使用はさけてください。

木粉入り樹脂商品

お手入れの方法

木粉入り樹脂製品は天然木と比較してメンテナンスの必要が少ない素材ですが使用環境(雨、雪、散水など)によっては製品表面に部分的にシミが残ることがあります。長期間放置しておきますと、汚れがシミ状に残ったり黒い斑点の原因となりますので早めに洗浄してください。海岸地帯や工業地帯など環境が厳しい場所では、お手入れの回数を増やしてください。

汚れが軽い場合

材料の長手方向に沿って柔らかい布かスポンジで水拭きした後に乾拭きしてください。

汚れがひどい場合

中性洗剤を水で希釈して薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らない様に水洗いをしてから乾拭きしてください。

お手入れの際のご注意

- 濃酸、濃アルカリ、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。もし付着した場合はすぐに拭き取ってください。変色・劣化の原因となることがあります。
- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。磨き粉、固いたわし、金属ブラシ、金べら、スチールウール、目の粗いやすりなどは使用しないでください。
- 清掃後は洗剤をきれいに洗い流してください。洗剤が残ると変色などの原因になることがあります。
- 小石や砂などが付着したまま表面を擦ると傷がつきますのであらかじめ取除いてください。
- 高圧洗浄機での洗浄も可能ですが、水圧によっては製品の木目加工に影響を及ぼしたり、製品表面に跡が残る場合がありますので影響のない部分(製品端部など)で状況を確認した後、おこなってください。

 安全に関するご注意	●正しく安全にお使いいただくために、製品のお買い上げ後は必ず、施工・取扱説明書をよくお読みください。
--	--

●この施工取扱説明書に記載されている仕様、意匠などは(改良のため)予告なく変更されることがあります。●生産物賠償責任保険に加入しています。 ホームページでは最新の製品情報の他、各種製品図面のダウンロードサービスをご利用いただけます。

株式会社 **サンポール**

本 社 〒730-8667 広島市中区南吉島2-4-5
TEL(082)244-4655 FAX(082)243-5914

東 京 〒105-0004 東京都港区新橋2-2-9
TEL(03)3591-8501 FAX(03)3591-8561

HOME PAGE <https://www.sunpole.co.jp>

SUNLEAD取説 REV.202410M